

BTCC “**新規口座開設限定**”

BTCC口座開設&入金で、最大**17500USDT**が獲得できる。
お友達を紹介するとさらにボーナスをプレゼント!

今すぐ口座開設/詳細はこちら



「ビットコイン・ピザ・デー」、今年で12周年を迎える!

原文:

<https://www.btcc.com/ja-JP/academy/research-analysis/bitcoin-pizza-day-marking-its-12th-anniversary-this-year>

ビットコイン (BTC) を利用した取引が行われた日を祝う「ビットコイン・ピザ・デー (Bitcoin Pizza Day)」は今年で12周年を迎える。



「ビットコイン・ピザ・デー」5月22日

暗号資産業界にとって、2010年5月22日は特別な日だ。プログラマーのラースロー・ハネツ（Laszlo Hanyecz）氏が、まだ無価値に等しかったビットコインを初めて決済利用した日である。

ハネツ氏は今から12年前、保有していた10,000BTC（1BTC=時価0.0025ドル）と、ピザ2枚を交換してくれる人はいないか「ビットコインフォーラム」で面白半分募集かけたところ、取引が成立したという。

掲示板のビットコインフォーラムには、米国のピザショップ「パパ・ジョーンズ（Papa Jon's）」のピザを購入したハネツ氏の投稿が現在も残されている。

その後ビットコインの存在は数多くの人に知れ渡り、12年の時を経て資産価値を飛躍的に上昇させた。記事公開時点（2022年5月22日）のピザの代金（10,000BTC）の価値は、350億円相当となっている。

過去数年間の価格の推移は以下の通り。（[ドル円](#)の為替レートによっても変動）

2019年5月22日：88億円相当（1BTC=約88万円）
2020年5月22日：100億円相当（1BTC=約110万円）
2021年5月22日：400億円相当（1BTC=約500万円）
2022年5月22日：350億円相当（1BTC=約380万円）

10,000BTCの資産価値を冗談半分でインデックス化したサイト（Bitcoin Pizza Index）も公開されている。ピザの各トッピング価格の算出も行っており、例えばベーコン1枚の場合、価値は推定278万ドル（3.5億円相当）に上る。

【他の記事】

[IMF、暗号資産に対する資本規制を要請](#)

[小売店、ビットコインへの関心が低下 グーグルデータが示唆](#)

[4月ビットコインマイニング会社の動き | 週間レポート](#)

[米コインベース、株価は過去最低を更新](#)

[仮想通貨暴落、機関投資家が要因か？](#)

▶ 仮想通貨の将来性・買い方など

[仮想通貨ファイルコイン\(FIL\)は怪しい？ 将来性や買い方・おすすめ取引所を徹底解説](#)

[仮想通貨BSV\(ビットコインSV\)の将来性は？ 今後予想や買い方など徹底解説](#)

[エイプコイン \(ApeCoin/APE\) の将来性は？ 今後予想や買い方など徹底解説](#)

[ユニスワップ \(Uniswap/UNI\) とは | 仕組み・特徴・将来性](#)

[暗号資産NEAR\(NEAR Protocol\)とは？ 特徴と用途を解説 | 用語集](#)